# 燕市と弥彦村は2020年4月までに水道事業を統合します

燕市と弥彦村は、浄水場の老朽化という共通の課題を抱えています。水道事業を統合し、共同で浄水場を更新整備することにより、建設コストを削減できるなどの効果が見込めることから、水道事業の統合に向けて協議を進めてきました。このたび、水道事業の統合に関し基本的な事項について合意しましたので、2020年4月までの統合を目標に取り組みを進めてまいります。

## 1　燕市と弥彦村の水道事業の現状

※給水人口、普及率は平成28年度末現在

【燕市】

| 水道事業名 | 給水人口（人） | 普及率（%） | 浄水場名 | 建設年 | 経過年数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 燕市水道事業 | ４２,７８３ | １００.０ | 道金浄水場 | Ｓ３９ | ５３ |
| 燕市吉田上水道事業 | ２４,２０６ | １００.０ | 吉田浄水場 | Ｓ４６ | ４６ |
| 燕市分水上水道事業 | １３,４９１ | １００.０ | 分水浄水場 | Ｓ４９ | ４３ |
| ３水道事業合計 | ８０,４８０ | １００.０ | | | |

【弥彦村】

| 水道事業名 | 給水人口（人） | 普及率（%） | 浄水場名 | 建設年 | 経過年数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 弥彦村水道事業 | ８,６０４ | １００.０ | 弥彦浄水場 | Ｓ３３ | ５９ |

## 2　今日までの取り組み

| 時　期 | 内　　容 |
|---|---|
| 平成28年4月～ | **燕市・弥彦村水道事業広域化研究会**<br>・共同で浄水場を更新整備することによる建設コスト削減など広域化の有効性を確認 |
| 平成29年5月～ | **燕市・弥彦村水道事業統合協議会**<br>・事業統合に関する基本的事項（広域化基本計画、経営主体、統合時期等）について協議を重ねる |
| 平成30年2月7日 | **水道事業の統合に関する基本協定書を締結**<br>・2020年4月までに事業統合することなど基本合意し、基本協定書を締結 |

## 3　水道事業の統合に関する基本的事項

### (1) 統合の方法及び経営の主体

燕市水道事業、燕市吉田上水道事業、燕市分水上水道事業及び弥彦村上水道事業をそれぞれ廃止するとともに、新たな水道事業を創設し、燕市と弥彦村で組織する燕・弥彦総合事務組合が経営します。

### (2) 統合の時期

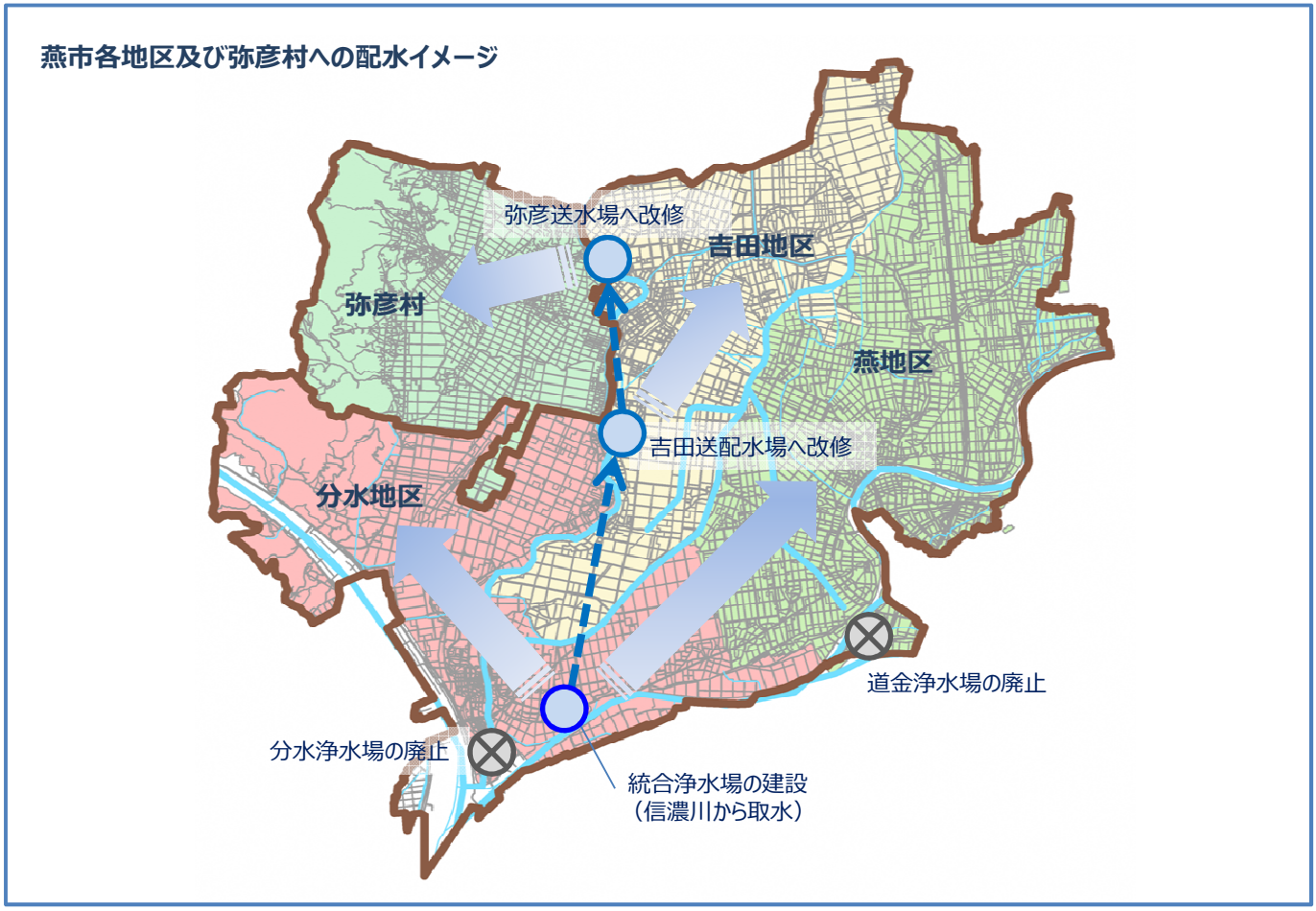
燕・弥彦総合事務組合が、新たな水道事業の経営を開始する期日は、平成32年（2020年）4月1日とします。ただし、国、新潟県等との協議成立が早めに整った場合は、この期日を前倒しします。

### (3) 水道施設の整備

水道施設の整備は、燕市・弥彦村水道事業広域化基本計画に基づき推進します。

### (4) 水道料金

水道料金は、広域化基本計画に基づく統合浄水場の供用開始時（2025年予定）に、燕市の水道料金水準で統一します。




## 4　燕市と弥彦村の水道事業統合の効果

### 財政面

浄水場施設の更新
課題：莫大な更新費用

| 弥彦村 | 燕市 |
|---|---|
| 約15億円 | 約176億円 |

広域化して共同整備
約212億円

国庫補助制度の活用による建設コスト削減
対象事業費の1/3補助

企業債発行の抑制

- 支払利息削減による経常利益確保
- 将来の建設改良のための資金積み増し

### 施設面

浄水場施設
課題：老朽化、過剰な施設能力

弥彦村：弥彦浄水場
燕市：道金浄水場、吉田浄水場、分水浄水場

浄水場施設の統廃合による更新

広域化して共同整備
統合浄水場

浄水場建設による課題解決
- 耐震性能を満たした浄水場
- 水需要に見合った施設能力

### ヒト・サービス面

職員数、管理体制
課題：弥彦村では少ない人員で対応せざるを得ない状況

組織の統一

人材・技術力の確保
- 人員体制の効率的・効果的な配置
- 管理体制・緊急時体制の強化

その他水道サービス水準の向上
- 水道料金支払方法・窓口の多様化
- 水道水質の向上

**燕市と弥彦村の水道事業の基盤強化**

**将来にわたり安全・安心な水道水の安定供給が可能に！**